

生成AIワークショップ（基礎編）アンケート結果

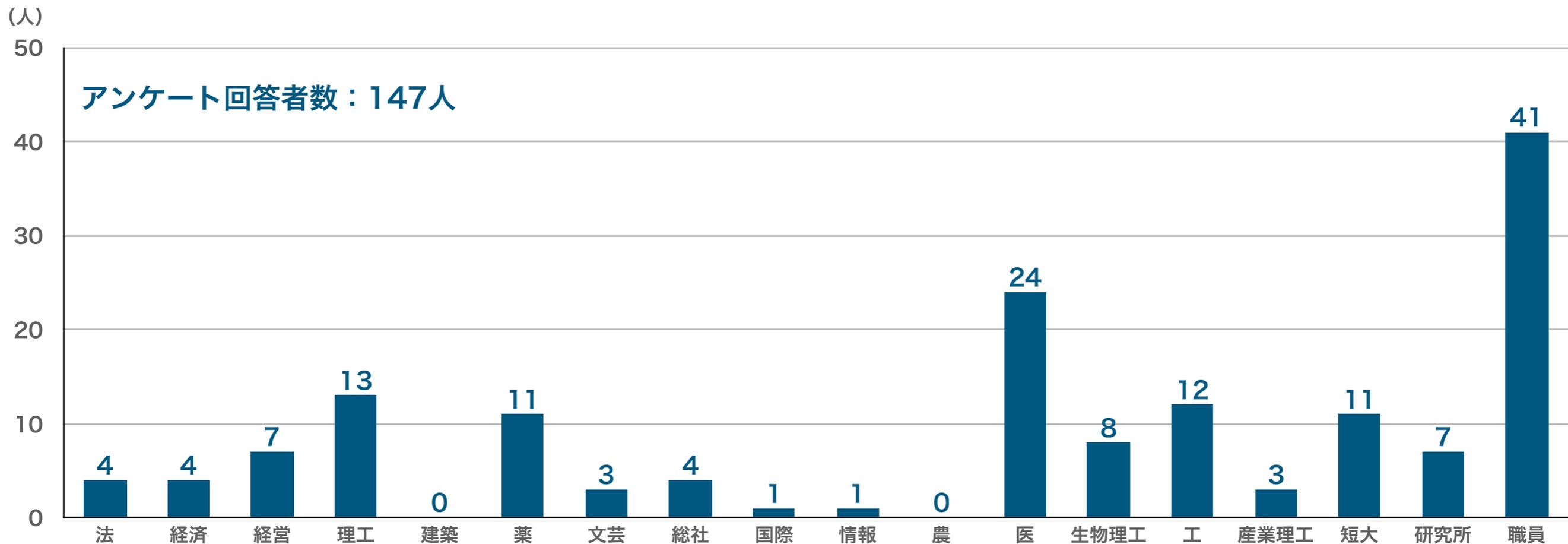
生成AIワークショップ 概要

日時：令和5年11月30日（木）13:00～14:30

場所：Zoom

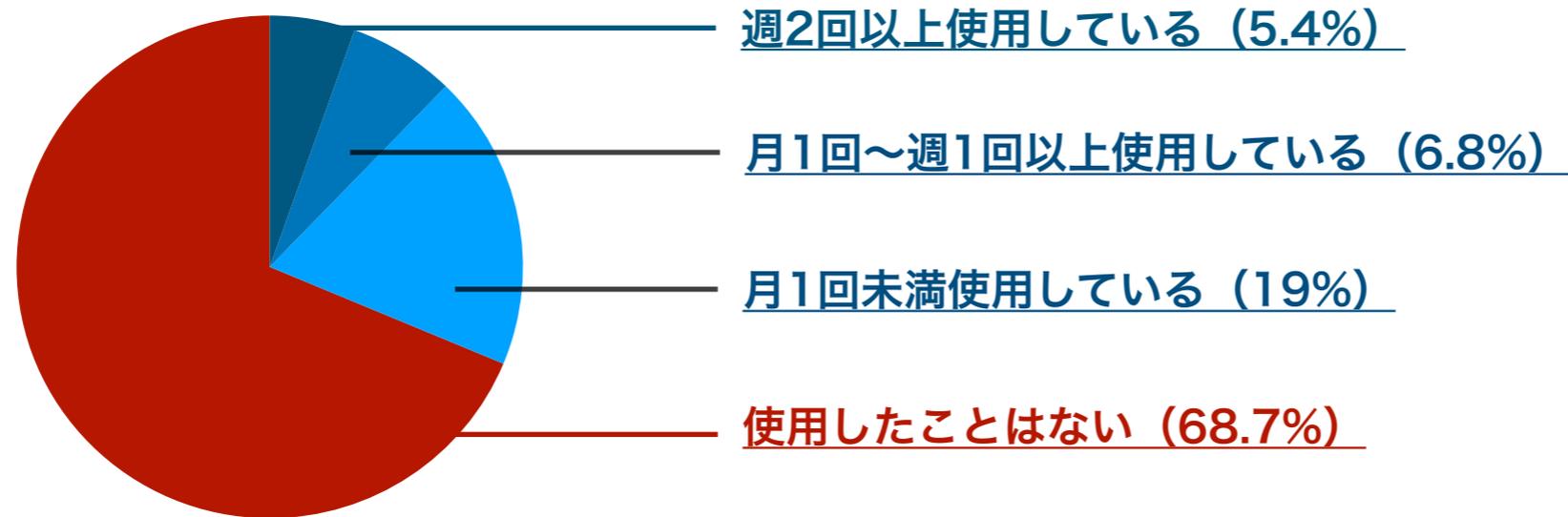
テーマ：生成AIの利活用の意義、できることの紹介（ChatGPT、Bingチャット）、生成AI利用時の注意点、参加者による活用実践

参加者（同時接続120人・アーカイブ視聴60人程度）



生成AIワークショップ（基礎編）アンケート結果

Q1 これまでの授業やゼミ等の教育活動（職員の方は業務に関する活動）で、生成AIをどの程度使用した事がありますか。



Q2 これまでの授業やゼミ等の教育活動（職員の方は業務に関する活動）で、使用したことのある生成AIサービスについて、すべて選択してください。

名称	人数（延べ）
ChatGPT（無料版：GPT3.5）	49
Bingチャット	17
Bard	6
ChatGPT（有料版：GPT4）	2
その他（Claude、stable diffusion、DALL E2、CANVA）	1
使用したことはない	93

Q3 これまでの授業やゼミ等の教育活動（職員の方は業務に関する活動）で、生成AIをどのように活用しましたか。すべて選択してください。

名称	人数（延べ）
情報検索	25
アイデア創出	18
文章の要約	12
画像の生成	8
教材作成	8
課題作成	4
データの集計・分析	3
その他（文献の引用の際の人名リストの整形、 依存の危険性を伝えた、生成文書例を示した）	4
活用したことはない	108

Q4（Q3で①～⑦にチェックを付けた方にお聞きします）生成AIの具体的な活用内容について、「授業科目名」「活用者（教員or学生）」「活用内容」などをご記入いただければ幸いです。

- 自分の専門外のトピックについてざっと概要を知りたいときに使用する。
- 応用化学実験5研究室の指導で授業ではない試験問題の作成に、試しに使ってみました。
- Medical English Year/ Clark / Creating prompts for test questions
- 医用化学 抽象的な概念の具体例
- Medical English Year 3 / Clark/ Test prompts
- 「細胞・形態学」「教員」「学生に情報検索結果の例を示し、授業内容と異なる記述についてまちがい探しの課題を与えた」
- 材料工学（医用工学科3年生）、教員、材料の応用例網羅のため
- 基礎ゼミにて与えたレポート課題を、学生自身にChatGPTを使って批評させている
- 「生物有機化学」「基礎ゼミ」「生物機能化学特論」学部1, 3年生、大学院生 情報検索
- 「簿記論」「学生」「会計と簿記の資格について調べてみよう、としてどのような勉強が必要かを学生に各自で調べさせた。」
- 「英語1R」「TOEFL Prep.1/2」「教員」「英語の例文作成」
- 科目：デジタル処理演習 画像生成AI：「Stable Diffusion Online」or 「Bing Image Creator」を使用
内容：授業内の演習として、自分が理想とする「未来都市」をAIで4枚描いてもらい、
画像結果と自分が思い描く「未来都市」は違いが生じたか？生じた場合は、何故そのようになったかなどを考察してもらう。
- 授業科目名：AIデータサイエンス基礎実習 活用者：学生、活用内容：プロンプトエンジニアリング体験・レポートの書き方など
- 基礎ゼミ（1年生）、専門ゼミ（2年生）、生命情報工学演習（3年生）、生命情報工学演習（4年生）：いずれも ChaGPTの使い方。
- Excelの関数検索等現在の税制における対応、他大学の情報検索など
- 申請書類に書かれている文言の詳細な説明を求める時図書館ガイダンス動画での解説を作成するため、生成AIチャットのメリットデメリットを確認するため、使った。引用元を記載できるようにもなっていて、進化を感じた。Bing Chatが画像生成や、帳票分析までできるようになっているとは知らなかった。分析など、活用してみたい。「この文献ありますか？」と、生成AIが答えた存在しない書誌情報を持って、図書館に質問にきた学生がいた。全学生を対象に生成AIの使い方を含め、情報リテラシーについて教える授業が必要なのではないか。
- 「科学技術英語 2」言語生成系AIに関して外部講師に解説していただいた。
- 情報の要約やスライド・説明資料の構成案作成
- 設計製図演習：建築デザインのアイデア創出のため、学生が画像生成AIを使ってみることを行いました。
- 試験問題の作成、問題解説文の作成、データ分析の下処理の手助け（データ抽出、Excelでの関数・マクロ作成など）、マニュアルなどの書類作成、論文・Youtubeの要約、簡単な検索、論文作成の手助けなどなど、ほぼ毎日使用しており、すでに業務にも欠かすことのできないツールになっています。

Q6 今後、学生に生成AIの活用を推進すべきだと考えますか

